

「人の振り見て我が振り直せ」

人の振り見て我が振り直せとは、他人の行動を見て、良いところは見習い悪いところは改めよという故事です。他人の失敗はそう多くは聞けません。しかし失敗の話ほど勉強になることはありません。このページはある住宅会社のホームページに寄せられたユーザーの声を紹介して家づくりの参考にしてもらおうという企画です。



声① 本物の高断熱住宅があることを知った

<2018.3 福島県 男性>

昨年秋頃から新築住宅の検討をし始め、住宅展示場を見て回っておりました。年が明けたところに、複数の大手HMさんの営業さんから「金利が安い今のうちに…」「年度末だからお値段安くできますよ…」「今だとZEH申請のタイミングに間に合う…」「来年の正月は新築のご自宅で…」というような甘い言葉に誘われるままに、無料のプラン作成やCGパース、概算見積もりを作成してもらい、家内と二人でもうすぐ手にできるかもしれない新生活を想像していました。

先日(11月下旬の寒い日でした)、被災後新築再建した2年目を迎える実家へ行ったところ、高断熱高気密住宅を売りにしているHMに依頼して建てたにもかかわらず、高効率エアコンが稼働している状況下で、靴下をはいた足元が耐え難い冷たさで、食事後もソファがある広いリビングへは行く気がせず、エアコン近くのダイニングのイスの上で胡坐をかいた体勢で家族と談笑、その時両親へ後悔したことは何かと聞いたところ「リビングダイニングへ床暖房を入れるべきだった」というものでした。

この頃から高断熱高気密、冬暖かい家というようなことをネットで調べ始めたところ、このWEBへわりとあっさり辿り着きました。

最初は信じられませんでした。読み進めてゆくうちにしっかりした断熱理論とHMとは比較にならないくらい厚い断熱材が入る理由をして、結果驚くほどの省エネと快適な環境ができているとのこと…。

半信半疑のまま、コンタクトした新住協から紹介してもらった近隣の工務店で施工した実例を見せていただき、本当に家の隅々まで温度差がない家に感動、すっかり新住協(教)信者になりつつあります。

どのような家を建てるにも、急いばかりに選択を誤り後悔するようにならないようしたいと思って本を買いました。

実家が寒かったお陰でこの人は早まらずに済んだのですが、震災直後とはいえ、あの頃建てた人の中には多かったようです。じっくり待つて成功した人もいます。



連載企画

失敗は成功の元

ホームページに寄せられた失敗と後悔と無念の話

「人の振り見て

我が振り直せ！」

大切な家づくりが「後の祭り」!! 他人ごとではありません

声② 自分の無知を後悔している

<2018.1 埼玉県 男性>

私は昨年大手ハウスメーカーでマイホームを建てていただきましたので、当面新築の計画はないのですが、私の無知ゆえに出来上がった家が寒いものだったばかりに、高気密高断熱を得意とする工務店などのブログを今更ながら読み漁っています(そしてその度後悔を強くします)。

既に我が家は出来上がって手遅れなのですが、もし次家を建てるのであれば高気密高断熱に徹底的にこだわりたい!...と思っています。遠い将来のための勉強です...

(中略)

見ても悲しくなるだけ(自分の家が平凡で低性能だから(;ω;))なので憧れにとどめておいた方が良さそうです...



この人は自分の無知を責めているようですが、悪いのは住宅業者です。「出来上がって手遅れ」と言っているところが痛々しいですね。後の祭りってこれですよ。

声④ 妹が建てた家がうらやましい

<2019.1.20 宮城県 女性>

わが家は築5年になります。高断熱高気密住宅ということで地元の工務店に建ててもらいました。夏は暑く、冬は暖房をつけても足元が寒く乾燥し、トイレ洗面所なども温度差があります。蓄熱暖房で、暖冬にもかわらず電気代が45000円超えでした。妹の家が羨ましいです。(以下略)



後で確認したのですが電気代45000円というのは一ヶ月のことでした。住宅の断熱性能が甘かったのです。深夜電力の電気料金が倍になったこともありましたが、蓄熱暖房機を使ったのも今となれば失敗でした。

声③ 知らぬが仏とは私のこと(涙)

<2018.3.3 富山県 男性>

私は2年前に某中堅ハウスメーカーで新築いたしました。住んでみた感想は「高断熱高気密住宅ってこんなもの?」でした。たしかに築40年の私の実家等に比べれば全然マシです。ただ、家全体が暖かいというキャッチコピーほどではない... (洗面所やトイレは真冬に11℃程度)。

何か工夫して洗面所や風呂場を暖かくできないかと色々調べて辿り着いたのが新住協さんやパッシブハウスでした。

建てた家の性能がそもそも悪いと知った時はかなりのショックでした。

初めはリフォームしたいなど考えましたが、今の目標は現在の住宅を売却し本物の高断熱高気密住宅(可能であれば無暖房住宅)を新築することです。

さまざまな書籍を読んで勉強し将来に備えております。宜しくお願いします。

追伸...冒頭の「こんな家づくりがあるということを知らなければ、それはそれで幸せだけど(知らぬが仏)というのは私に当てはまるなあと思いました。知らなければ「寒いけどこんなものだろう」と今の家で十分と考えていたことでしょう。



もう一回建て替えるのが目標だなんてとてもかわいそうな話ですね。でもこういう話は結構あるみたいですよ。